

第 130 期中間（平成 18 年 12 月 1 日から平成 19 年 5 月 31 日まで）

中間事業報告書

株式会社 ホテル、ニューグランド

営業の概況

当上半期におけるわが国の経済は、企業収益の改善、設備投資の増加などを背景に景気は順調に推移いたしました。また、雇用・所得環境にも好転の兆しがみられ、個人消費も配当所得の増加もあり、一部の高額消費への需要も見受けられるなど、拡大基調とは言えないまでも堅調に推移しております。

ホテル業界にあっては、都心での外資系の大型ホテルが開業し、また地元横浜においても新たなホテルの開業が予定されており、ホテル間競争は将来ますます激しさを増すものと思われまます。

このような環境のもと、当社は平成 17 年 1 月に公表しました「中期 3 カ年計画」を見直し、新たに開業 80 周年にあたる当事業年度をスタート年とする「新中期 3 カ年計画」(平成 19 年 3 月公表)を策定いたしました。

当上半期における営業収益につきましては、宿泊部門は稼働率の上昇により客室収入は前年を若干上回りましたが、附帯収入が減少したため、629,134 千円(前年同期比 0.2%減 1,108 千円減)となりました。宴会部門は、一般宴会が好調に推移し、1,145,521 千円(前年同期比 3.6%増 39,681 千円増)となり、レストラン部門も客数の大幅な増加により、756,005 千円(前年同期比 8.0%増 56,049 千円増)となりました。

この結果、営業収益は 2,736,040 千円(前年同期比 3.7%増 97,052 千円増)となりました。

営業費用につきましては、営業収益の増加による売上原価の増加もあり、2,658,881 千円(前年同期比 1.5%増 38,529 千円増)となり、当上半期においては、「新中期 3 カ年計画」に基づき、ホテルのメイン厨房改修工事への設備投資を行い、最新の厨房設備への更新により、一層の安全衛生対策と新メニュー開発の基盤を構築いたしました。この結果、営業利益は 77,159 千円(前年同期比 58,522 千円増)、経常利益は 71,984 千円(前年同期比 57,295 千円増)となりました。中間純損益は前年は特別利益 76,900 千円(投資有価証券売却益等)があったことに加え、当上半期には役員退職慰労金及びメイン厨房改修工事等とともに固定資産除却損として特別損失 81,475 千円を計上したため、7,923 千円の中間純損失(前年は 49,953 千円の中間純利益)となりました。

貸借対照表

(平成19年5月31日現在)

(単位 千円)

資産の部		負債の部		
流動資産	現金及び預金	438,843	買掛金	351,887
	売掛金	230,132	短期借入金	650,000
	料飲材料	32,324	一年以内に償還する社債	96,000
	貯蔵品	30,637	一年以内に返済する長期借入金	110,000
	前払費用	25,819	未払金	59,543
	繰延税金資産	21,692	未払消費税等	10,887
	その他	25,052	未払法人税等	12,300
	貸倒引当金	760	未払事業所税	7,946
		未払費用	270,522	
		前受金	179,134	
		預り金	6,133	
	計	803,743	計	1,754,355
固定資産	有形固定資産	(10,976,356)	社債	204,000
	建物	6,573,914	長期借入金	55,000
	建物附属設備	963,364	金利スワップ	211
	構築物	44,380	長期未払金	3,944
	機械及び装置	74,629	預り保証金	309,906
	車両運搬具	7,015	退職給付引当金	556,993
	器具及び備品	333,491	繰延税金負債	297,478
	土地	2,979,559	再評価に係る繰延税金負債	668,704
	無形固定資産	(50,089)	計	2,096,238
	借地権	42,961	負債合計	3,850,594
その他	7,128	純資産の部		
投資その他の資産	(241,214)	資本金		
投資有価証券	185,424	資本準備金		
差入保証金	12,772	資本剰余金		
保険積立金	42,847	計		
長期前払費用	170	利益剰余金		
		利益準備金		
		その他利益剰余金		
		買換資産圧縮積立金		
		繰越利益剰余金		
		計		
	計	11,267,659	自己株式	14,902
繰延資産	社債発行費	2,266	株主資本合計	7,786,794
	計	2,266	評価・換算差額等	4,964
			土地再評価差額金	431,316
			評価・換算差額等合計	436,281
			純資産合計	8,223,075
	資産合計	12,073,669	負債及び純資産合計	12,073,669

(注)記載金額は、千円未満は切り捨てて表示しております。

損益計算書

(平成18年12月 1日から平成19年5月31日まで)

(単位 千円)

科目		金額	
経常 損益 の 部	営業収益		
	営業収入		2,736,040
	営業費用		
	営業原価	862,916	
	販売費及び一般管理費	1,795,965	2,658,881
	営業利益		77,159
	営業外収益		
	受取利息及び配当金	959	
	金利スワップ評価益	222	
	受取保険金	648	
その他の	468	2,298	
営業外費用			
社債利息	649		
支払利息	6,690		
社債発行費償却	133	7,473	
経常利益		71,984	
特別利益			
投資有価証券清算益		1,843	
特別損失			
役員退職慰労金	53,574		
有形固定資産除却損	27,901	81,475	
税引前中間純損失		7,647	
法人税、住民税及び事業税	1,920		
法人税等調整額	1,644	276	
中間純損失		7,923	

(注)記載金額は、千円未満は切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(平成18年12月1日から平成19年5月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
平成18年11月30日残高(千円)	3,455,000	3,363,010	3,363,010
中間会計期間中の変動額			
中間会計期間中の変動額合計(千円)			
平成19年5月31日残高(千円)	3,455,000	3,363,010	3,363,010

	株主資本					自己株式	株主資本合計
	利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計			
		買換資産圧縮積立金	繰越利益剰余金				
平成18年11月30日残高(千円)	66,144	804,404	164,771	1,035,320		13,546	7,839,784
中間会計期間中の変動額							
剰余金の配当			43,711	43,711			43,711
中間純損失			7,923	7,923			7,923
買換資産圧縮積立金の取崩		14,575	14,575				
自己株式の取得					1,355		1,355
中間会計期間中の変動額合計(千円)		14,575	37,058	51,634		1,355	52,989
平成19年5月31日残高(千円)	66,144	789,829	127,712	983,686		14,902	7,786,794

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年11月30日残高(千円)	2,798	605,718	608,516	8,448,300
中間会計期間中の変動額				
剰余金の配当				43,711
中間純損失				7,923
買換資産圧縮積立金の取崩				
自己株式の取得				1,355
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額 (純額)	2,166	174,401	172,235	172,235
中間会計期間中の変動額合計(千円)	2,166	174,401	172,235	225,225
平成19年5月31日残高(千円)	4,964	431,316	436,281	8,223,075

(注) 記載金額は、千円未満は切り捨てて表示しております。